

古紙は宝です



◆その宝を燃やしています

古紙のうち「新聞紙・ダンボール」は分別排出がなされていますが、紙箱や古封筒など「その他の古紙」の多くは燃やすごみ袋に含まれているため、環境センターで焼却されているのが現状です。

資源となる「その他の古紙」はごみ袋の中に約3割含まれています。これを燃やすことは地球温暖化の原因となる二酸化炭素を余計に排出することになります。また、同センター運営経費の無駄遣い(約3千万円)にもなります。

「その他の古紙」を写真でいくつか紹介します。これらを分別排出することはちょっと手間がかかりますが、そのひと手間が大きな効果をもたらします。

①雑誌・包装紙・チラシ・カレンダー等



②紙箱・紙袋・古封筒等(小さな古紙やシュレッターしたものは古封筒に入れてください)



◆ひと手間が 宝を守る

分別排出をされている家庭では、台所や居間の片隅に大きめの袋を置いて日々出る「その他の古紙」を溜めておき、一杯になったら紐で十文字に縛り、これをいくつかまとめて回収場所(環境力カレンダーに記載)へ持ち込みされています。



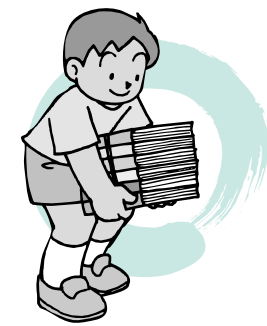
③古紙の縛り方(新聞やダンボールと一緒にせず、「その他の古紙」だけで縛る)

④ある家庭ではこのように「その他の古紙」を溜めています



今夏は例年以上にうだるような暑さが続きました。これは、大量生産・大量消費により大気中の二酸化炭素の濃度が増えたことなどによります。このまま二酸化炭素を放出すると、2100年までに平均気温が2℃高くなる(高島市が九州南部になるような状態)とも言われています。

一人ひとりができることは小さなことでも、その輪が広がれば大きな成果となります。未来を担う子どもたちを犠牲にしないため、そして貴重な税金を無駄に使わないため、「燃やすごみ袋のダイエット」にご協力をお願いします。



ダンボール箱で生ごみが処理される!?

「燃やすごみ袋のダイエット」には、古紙の分別排出のほかに、袋の中に2割以上も含まれる「生ごみ」が大きく影響します。「生ごみ」を減らすためには、無駄のない計画的な買い物や料理の工夫で食料品を使い切ったり、作り過ぎず、冷蔵庫で上手に保存して作ったものを食べ切るなど、出さない工夫をすることが大切です。それでも出る生ごみは、水をよく切って「3袋に入れてください」。

しかし、その生ごみも堆肥化すれば、「燃やすごみ袋のダイエット」にはより効果的です。生ごみ堆肥の作り方はいくつかあり、コンポスト容器や生ごみ処理機などで堆肥を作り、花壇や菜園にまいておられるご家庭もあります。ここでは、環境エネルギー課職員が実際に行っている「ダンボールを使った生ごみ堆肥化」をご紹介します。

ダンボールを使った生ごみ堆肥化

○用意する物

【容器】

- ・ダンボール箱(縦30cm×横45cm×高さ30cm程度のもの)
- ・木片(通気を良くするため下に置きます)

【基材】

- ・ピートモス(土壌改良材)(園芸店などで購入できます。20ℓ入り袋500円程度)
- ・もみがらくん炭(土壌改良材)(園芸店などで購入できます。15ℓ入り袋400円程度)

【道具】

- ・シャベル(かくはん用)
- ・温度計(100℃計 生ごみ分解時の温度変化の確認用)

○手順

ピートモス6(15ℓ)、もみがらくん炭4(10ℓ)の割合で混合(25ℓ程度)し、ダンボール箱に入れ堆肥化容器とします。

↓
その中に生ごみを入れ、よくかかはんする。(生ごみは毎日入れても分解します)

↓
温度計を中心にさし、蓋をする。

↓
容器は、温度が20℃以上の所に設置する。

↓
生ごみ投入開始から1～2週間くらいで、温度が40℃台に上昇する。

○アドバイス

- ・使用期間は、3か月くらいを目安としてください。
- ・基材は、土と混ぜて1か月程度寝かせて堆肥として使用します。
- ・微生物が生ごみを分解するため、よく混ぜ合わせることが大切です。

～一言～

できた堆肥は畑にまいて野菜を収穫しています。

来年は夏の日よけも兼ね、縁側をゴーヤのカーテンにする予定です。

詳しいことをお知りになりたい方は環境エネルギー課までお問い合わせください。

・この方法は、循環(くるくる)ネットワーク北海道にて考案されました。

※環境エネルギー課ではEM(有用微生物群)を使った生ごみの堆肥化の講習会を随時開催しています。受講を希望される場合はお気軽にお問い合わせください。



いま高島から始めよう!

環境基本計画の地域懇談会の開催

高島市未来へ誇れる環境づくり推進委員会では、昨年の7月より高島市環境基本条例に引き続き、高島市環境基本計画づくりを進めてまいりました。

この計画は、高島市の環境保全また地球規模の環境問題について、市と市民、事業者の役割や責務を定めるもので、具体的に行動するためのマニュアルとなるものです。

今回、この計画案について、広く市民の皆さんのご意見をお伺いするための懇談会を開催します。多くの方々のご来場をお待ちしています。

◆開催日時・場所(2回開催)

<1回目>

▶日時: 10月14日(土) 14時から

▶場所: 今津東コミュニティセンター

<2回目>

▶日時: 10月19日(木) 19時から

▶場所: 藤樹の里ふれあいセンター

◆内容: 市民委員による計画案説明と、参加者とのグループワーク

◆主催: 高島市未来へ誇れる環境づくり推進委員会、高島市

問 環境エネルギー課 ☎(25)8123